

2021年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

ふりがな	かとう やすし					
教員氏名	加藤 康		職 位	教授	学 位	修士（商学）
アルファベット表記	Yasushi Kato					
	専門分野	産業論・企業論				
研究課題	テーマ	サプライチェーンにおける倉庫の機能				
	概要	サプライチェーン、ロジスティクスに組み込まれた倉庫の意義、機能に関する実証的研究				
本年度 研究業績	研究費	総額： 320,000 円 内訳：個人研究費 220,000 円 / 科学研究費 100,000 円 そ の 他				
	研究テーマ	サプライチェーンにおける倉庫の機能				
	経過と到達点	今年度は、コロナ過において倉庫、ロジスティクスに関する調査は実施できなかったが、科研費研究グループのメンバーと研究のフレームワーク構築にむけて意見交換等を行った。				

(1) 学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究ノート等					
7 学会での 口頭発表、討 論者（ディス カッサント	（仮）サプライチェーンとSGDs	2022年3 月9日	単	京都経済短期大学 経営情報学会	サプライチェーンにタイミングコントローラーが介在する意義をトータルコストの観点から検討する。

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書				
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)	タイミングコントローラーと競争優位：規模の経済とJIT生産の両立に関する研究(中道一心)	2020年4月～2025年3月	文科省科研費基盤研究(C)	サプライチェーン全体の最適化に不可欠な企業(タイミング・コントローラー)の検討、国際比較、その理論構築を目指す。
⑬科学研究助成事業(日本学術振興会)申請				

2. 教育(本年度のみ)

担当科目		前期	後期
		科目名	科目名
担当科目	講義	経営学総論、中小企業論	企業論、流通論、経営英書購読I
	演習	基礎ゼミナールI、ゼミナールII、経営講読II	ゼミナールIII
	実習		

教育内容・方法 の工夫	<p>◆ 講義科目</p> <p>1 回生前期配当「経営学総論」では、月曜V講目の開講も影響し、例年に比べると受講人数も少なかったが、これまで同様、経営学の基礎知識を解説すると共に企業の実際に触れることを意識した。「企業論」では、前年度までと同様、経営分野の基礎的理解とともに、サプライチェーンに関連する論理と多様な実際のありようを紹介することに重点をおいた。本科目と「中小企業論」「流通論」は、今年度もオンライン講義となり、前年度同様、zoom のチャット機能を用いた同様の取り組みを行った。2 回生前期配当「経営購読2」においてはほぼ毎回テーマを提示し、経営学分野の基礎的なトピックに関する小論文作成の個別指導を行った。</p>
	<p>◆ 演習科目</p> <p>2020 年度生は、コロナ過のもとで前年度生同様、ゼミ合宿、ゼミ全体での現場見学を実施できなかった。今年度も取り巻く状況が厳しい中、5つのグループに分かれて、それぞれ(株)カワタキコーポレーション、(株)大和青果センター、谷川運輸倉庫(株)、(株)関西丸和ロジスティクス(ZOOM 訪問)、(株)TANA-X へのヒアリング調査を行い、ゼミ内研究発表会(YouTube で限定公開)を行った。さらにゼミ内5班の成果を今年度もゼミ論集として製本する。</p>
	<p>実習科目</p>
	<p>◆ その他(教科書・教材等の作成を含む。)</p>

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

(1) 公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	

(2) 学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

(3) 講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者	

4. 特記事項（本年度のみ）

--